

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して
定めた日

単元株式数 100株
株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-176-417

※2013年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

■ 特別口座について
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 当社のホームページに掲載する
<http://www.daidoh-limited.com/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行う
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
名古屋証券取引所市場第一部



DAIDOH
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社 ダイドーリミテッド

経営管理室
〒101-8619
東京都千代田区外神田三丁目1番16号
TEL.03-3257-5024 FAX.03-3257-5051



株主の皆様へ

第90期 中間(第2四半期)報告書

2012年4月1日から2012年9月30日まで

DAIDOH
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社 ダイドーリミテッド

<http://www.daidoh-limited.com/>

証券コード 3205



中長期的な視点を持った経営により 市場に適応する企業へと進化・変化してまいります。



代表取締役社長

田岡正幸



代表取締役副社長

川西靖彦

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは「お客様第一」「品質本位」の基本理念を基に、厳しい事業環境に対処するための業務改革を継続して推し進めながら、グローバル企業としての事業展開に取り組み、お客様にご満足いただける製品とサービスの提供により、社会的に価値ある企業と認めていただくことを目指してまいります。

今後とも更なる躍進を実現し、株主の皆様のご期待に添えるべく全力を尽くす所存でございます。引き続き当社グループの経営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復の動きが見られたものの、欧州債務問題の再燃による世界的な金融不安の拡大や円高の長期化に対する懸念などから、国内景気と個人消費は不透明な状況で推移いたしました。

衣料品業界におきましては、景気の先行き不安や雇用情勢の悪化、所得の伸び悩みなどで消費マインドの改善にはいらず、引き続き厳しい状況下にあります。また、残暑の影響などから晩夏・秋物販売は低調に推移いたしました。

このような環境のなか、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高が12,652百万円（前年同四半期比6.2%減）でありましたが、四半期純損失は前年同期から1億82百万円改善し、285百万円となりました。

中長期的な取り組み

吟味された原料と長年積み重ねてきた技術による高品質な製品を、中国からグローバルマーケットへ供給し、マニュファクチャラーとして存在価値を高めてまいります。

また、お客様に対する商品の安全と品質保証の仕組みづ

くりを目的とした「ダイドーエンゲージメント制度（ダイドーグループのお客様へのお約束）」により、製品の「安全・品質」を高めてまいります。

「ニューヨーカー」ブランドは、2014年1月11日に50周年を迎えます。独自のスタイルを作り上げ、ライフスタイル型ブランドとしてその価値を高め、魅力的な商品とサービスを提供してまいります。

中国工場群は、品質競争力・コスト競争力を高めるため、再構築・再配置を進めてまいります。

卸売り・小売を行っている株式会社ダイドーインターナショナルは、事業を集約し利益を生む構造への転換を図ってまいります。その一環としてオーダースーツストア事業の日本での店舗展開も計画しており、当社の特長を生かした新たな事業を創造し、変革の姿を明確にしてまいります。

不動産賃貸事業は、引き続き小田原・秋葉原・千駄ヶ谷等の土地建物の有効活用と活性化をはかり、営業力の強化と効率的な運営を進めてまいります。

今後も中長期的な視点を持った経営を重視し、当社グループの得意な領域での付加価値の拡大をもって、現在の市場に適応する企業に進化・変化させてゆくことを積極的に推進してまいります。



MILLION CLUBブランドによるオーダースーツストア事業が、中国で5店舗目、そして日本でも第1号店をオープン。

5中国
号店

錦江店

上海市内の高級テラー街に出店

2012年9月
オープン

材質のコントラストを活かしたスタイリッシュな内装の仕上がり

■ 錦江店の概要

上海市内の中心部の高級ホテル「錦江飯店」の一角で通りに面した1階。店舗界隈は、上海でも高級テラーが軒を連ねる有名な通りで、テラー街と呼ばれています。

所在地	上海市茂名南路59号 錦江飯店峻岭楼一楼 TEL:86-21-6472-4970
アクセス	上海地下鉄1号線 「陝西南路」駅から徒歩10分
営業時間	AM 10:00～PM 9:00

1中国
号店

Red Town店

2010年9月出店

2中国
号店

松江店

2011年4月出店

3中国
号店

環球店

2011年6月出店

4中国
号店

800秀店

2011年9月出店

1日本
号店

今冬オープン予定

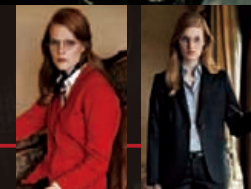
英国から継承した高い技術を誇る当社中国工場
で生地づくりから縫製までを一貫して手掛け、お客様
に対してオーダースーツをダイレクトにお届けする「ミリ
オンクラブ」。この店舗が中国で5店舗目、そしてつい
に日本でも第1号店をオープンいたします。

「Good looking(見栄えの良さ)」「Comfortable
(着心地の良さ)」「Durability(型くずれしない丈夫
さ)」の三拍子が揃ったスーツを、今後、中国のみなら
ず日本のお客様にもお届けしてまいります。

“Re-Classic, & Re-British” “gentlewoman”



Women's

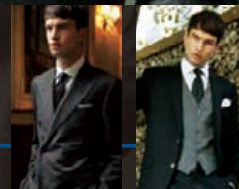


今だからこそ新鮮に映る“トラッドスタイル”。素材は、トラッドに欠かせない“ウール”にこだわりました。イメージするのは、それらを自分流に着こなす自立した女性たち。gentlewomanのテーマにのせて提案しています。

インスパイアされたのは、90年代前半のNEWYORKERスタイル。今見ても新鮮さに溢れるスタイルは、素晴らしいウール素材のアイテムが印象的。時を経てなお、心にひびくトラッドスタイルと、自分流のスタイルを持つ女性の生き方…この2つをイメージテーマに、スタイル表現しています。



Men's



古き良き時代に思いを馳せ、今すべきこと、今しかできないことを考える。今の自分に合ったスタイル、今しかできない表現方法。「自分らしさ」を見つけるために古き良き時代を今の時代に重ね合わせ[Re-Classic, Re-British]をテーマに表現しています。

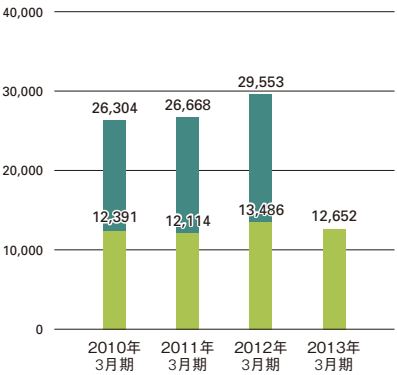
今シーズンは、吟味した原料を使い自社工場で作る一貫生産という強みを活かした、品位の高いニューヨーカークオリジナル素材を使用しています。特にウールファブリックは、糸からこだわって作られたニューヨーカークならではの品質でオリジナリティ溢れるコレクションです。今シーズンはクラシックな表情に軽さと柔らかさを加え、よりブリティッシュに洗練されたスタイル提案となっています。

連結財務ハイライト

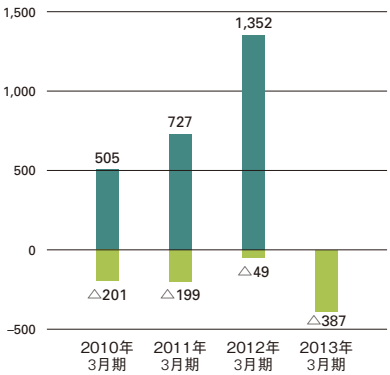
(特に記載のない限り2012年9月30日現在の状況です。)

通期 第2四半期

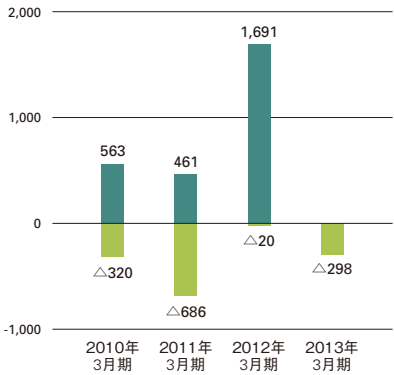
売上高 (単位：百万円)



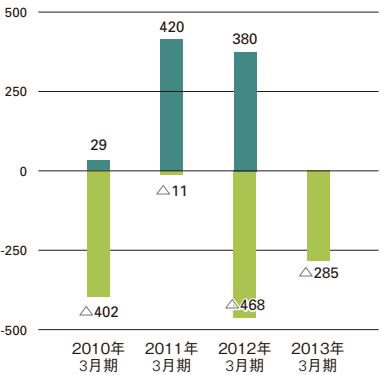
営業利益 (単位：百万円)



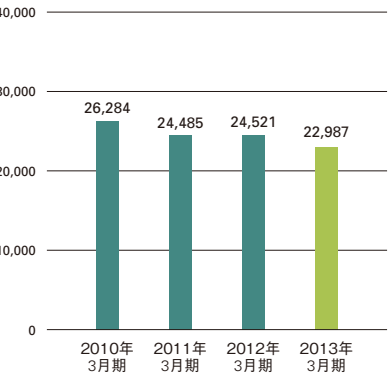
経常利益 (単位：百万円)



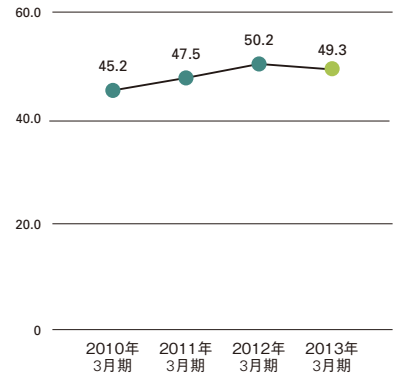
四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円)



自己資本比率 (単位：パーセント)



事業別営業概況(連結)

衣料事業

OEM(相手先ブランドによる製造卸)の受注・販売は、一部事業の撤退を行なったことおよびグループ生産工場以外で製造加工する事業が利益率が低く資金効率も悪いことから縮小したため、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。
株式会社ニューヨーカーを中心とする小売販売につきましては、残暑の影響などから秋物販売

が低調に推移し、売上高は前年同四半期を下回りました。オンラインストアは、直営の「NYオンライン」以外にも展開を広げて順調に推移いたしました。
以上の結果、売上高は103億36百万円、セグメント損失(営業損失)は9億87百万円となりました。

不動産賃貸事業

小田原の商業施設「ダイナシティ」において一部のテナントの販売が前年同四半期を下回ったこと、オフィス賃貸において賃料改定があったことなどの影響により、売上高が前年同期比で減少いたしました。
以上の結果、売上高は24億18百万、セグメント利益(営業利益)は5億74百万円となりました。

(注) 売上高構成比は、セグメント間の内部売上高を含む金額で算出しております(合計額127億54百万円を分母として算出)。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

単位：百万円

	前第2四半期 連結会計期間末 2011年9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2012年9月30日現在	前連結会計 年度末 2012年3月31日現在
資産の部			
流動資産	12,727	11,924	13,242
現金及び預金	2,286	2,174	2,837
受取手形及び売掛金	3,138	2,820	4,154
たな卸資産	5,798	5,594	5,135
その他	1,563	1,452	1,171
貸倒引当金	△ 60	△ 117	△ 56
固定資産	34,482	34,225	35,198
有形固定資産	13,512	12,090	12,637
無形固定資産	916	1,065	987
投資その他の資産	20,053	21,068	21,573
投資有価証券	17,438	18,213	18,895
その他	2,831	3,070	2,889
貸倒引当金	△ 215	△ 214	△ 211
資産合計	47,210	46,150	48,441

流動資産

たな卸資産が増加した一方で、現金及び預金・受取手形及び売掛金が減少したことなどから、流動資産は13億17百万円減少し119億24百万円となりました。

固定資産

無形固定資産が増加した一方で、減価償却による有形固定資産の減少、投資有価証券の減少などによる投資その他の資産の減少により、固定資産は前期末比9億73百万円減少し342億25百万円となりました。

資産合計

流動資産・固定資産ともに減少し、資産合計は前期末比22億90百万円減少し461億50百万円となりました。

負債の部			
流動負債	9,171	9,794	9,590
支払手形及び買掛金	1,573	1,450	1,352
短期借入金	3,830	3,530	3,530
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,660	1,330
その他	2,768	3,154	3,377
固定負債	15,208	13,368	14,329
長期借入金	6,500	5,340	6,170
長期預り保証金	7,278	6,767	6,844
その他	1,430	1,260	1,314
負債合計	24,380	23,162	23,919
純資産の部			
株主資本	24,264	23,407	24,476
資本金	6,891	6,891	6,891
資本剰余金	8,687	8,661	8,687
利益剰余金	12,182	11,709	12,683
自己株式	△ 3,497	△ 3,855	△ 3,786
その他の包括利益累計額	△ 1,648	△ 648	△ 178
その他有価証券評価差額金	△ 1,466	△ 455	100
為替換算調整勘定	△ 181	△ 192	△ 278
新株予約権	130	149	140
少数株主持分	84	79	82
純資産合計	22,830	22,987	24,521
負債純資産合計	47,210	46,150	48,441

有利子負債

有利子負債残高は、前期末比5億円減少し105億30百万円となりました。
この結果、有利子負債比率は46.3%となっております。

*有利子負債比率(%)＝有利子負債÷自己資本×100

負債合計

支払手形及び買掛金が増加した一方で、長期借入金・長期預り保証金が減少したことなどから、負債合計は前期末比7億56百万円減少し231億62百万円となりました。

純資産合計

利益剰余金・その他有価証券評価差額金が減少したことなどから、純資産合計は前期末比15億33百万円減少し229億87百万円となりました。
この結果、自己資本比率は49.3%（前期末は50.2%）となりました。

四半期連結財務諸表

四半期連結損益計算書(要旨)				単位：百万円
	前第2四半期 連結会計期間 2011年4月1日～ 2011年9月30日	当第2四半期 連結会計期間 2012年4月1日～ 2012年9月30日	前連結会計年度 2011年4月1日～ 2012年3月31日	
売上高	13,486	12,652	29,553	売上高
売上原価	7,157	6,518	15,169	
売上総利益	6,328	6,133	14,384	
販売費及び一般管理費	6,378	6,521	13,032	売上総利益
営業利益又は営業損失(△)	△ 49	△ 387	1,352	
営業外収益	431	402	801	
営業外費用	402	313	463	営業損失
経常利益又は経常損失(△)	△ 20	△ 298	1,691	
特別利益	16	121	126	
特別損失	35	14	354	四半期純損失
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 39	△ 191	1,463	
法人税、住民税及び事業税	28	281	317	
法人税等調整額	401	△ 183	766	
法人税等合計	429	98	1,083	
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 469	△ 289	379	
少数株主損失	△ 0	△ 4	△ 1	
当期純利益又は四半期純損失(△)	△ 468	△ 285	380	

売上高

売上高は前年同期比6.2%減の126億52百万円となりました。これは主に、衣料品販売部門において秋物販売が低調に推移したこと、OEMによる製造卸を縮小したことなどによるものです。

売上総利益

売上総利益は、利益率が低いOEM製造卸を縮小したことにより、売上高比は前年同期比1.6ポイント改善し48.5%となりました。

営業損失

営業損失は、前年同期比3億38百万円増加して3億87百万円となりました。これは主に、売上高の減少にともない売上総利益額が減少したこと、貸倒引当金の積み増しなどで販売費及び一般管理費が増加したことなどによるものです。

四半期純損失

四半期純損失は、前年同期の4億68百万円に対し、当第2四半期累計期間は2億85百万円となりました。これは主に、投資有価証券売却益を計上したこと、法人税等の負担が減少したことなどによるものです。

グループ編成

事業活動と
主要なグループ会社

当社グループの連結子会社は13社、持分法適用関連会社は1社あり、取り扱い品目や顧客は各社により異なっておりますが、グループを通して『お客様第一』『品質本位』の基本理念を共有して事業運営に当たっております。



衣料事業

製造 大同利美特(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) CO., LTD.)
大同佳楽登(馬鞍山)有限公司
(DAIDOH JARDIN (MAANSHAN) CO., LTD.)
大同利美特時装(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED CLOTHING (SHANGHAI) CO., LTD.)
大同利美特染整(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED DYEING & FINISHING (SHANGHAI) CO., LTD.)

販売 株式会社ニュー Yorker
上海纽约克服装销售有限公司
(SHANGHAI NEWYORKER CLOTHING SALES CO., LTD.)
愛雅仕商貿(北京)有限公司
(ARNYS TRADING (BEIJING) CO., LTD.)
株式会社ダイドーインターナショナル
大同利美特商貿(上海)有限公司
(DAIDOH INTERNATIONAL (SHANGHAI) CO., LTD.)
*株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン



貿易 大同利美特貿易(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.)

*=持分法適用関連会社

不動産賃貸事業

株式会社ダイナシティ



統括及び管理会社

大同利美特(上海)管理有限公司
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) MANAGEMENT CO., LTD.)
大都利美特(中国)投資有限公司
(DAIDOH LIMITED (CHINA) HOLDINGS CO., LTD.)

(特に記載のない限り2012年9月30日現在の状況です。)

会社情報

(特に記載のない限り2012年9月30日現在の状況です。)

会社概要

株式会社 ダイドーリミテッド DAIDOH LIMITED

創業 1879年(明治12年)1月
設立 1949年(昭和24年)10月17日
資本金 6,891,851,938円

取締役および監査役

代表取締役社長 田口正幸
代表取締役副社長 川西靖彦
常務取締役上席執行役員 和賀勇
取締役上席執行役員 大川伸
取締役上席執行役員 戸澤かない
取締役執行役員 村尾勤
監査役(常勤) 林玄
監査役(弁護士) 田口哲朗
監査役(弁護士) 武田昌邦

(注) 田口哲朗、武田昌邦の両氏は、社外監査役であります。

主要な事業所

本社 東京都千代田区外神田三丁目1番16号

従業員の状況

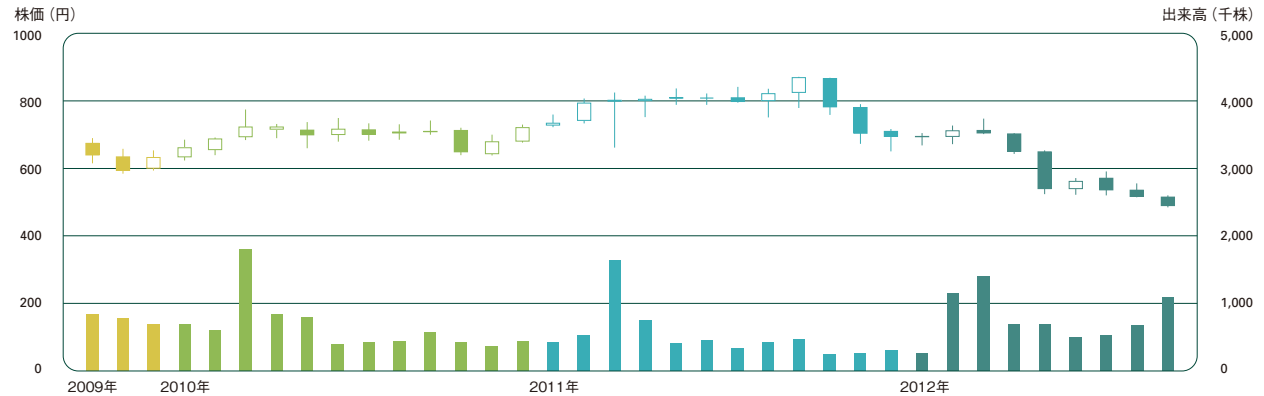
株式会社ダイドーリミテッド 72名
企業集団の合計 1,759名

主な借入先

借入先	借入金残高
株式会社みずほコーポレート銀行	3,130百万円
三井住友信託銀行株式会社	3,130百万円
株式会社三井住友銀行	1,770百万円

(注) 上記には株式会社みずほコーポレート銀行を幹事とする9行の総額2,500百万円のシンジケートローンは含まれておりません。

株価の推移グラフ



株式関連情報

株式の状況

発行可能株式総数 150,000,000株

発行済株式の総数(自己株式を含む) 37,696,897株

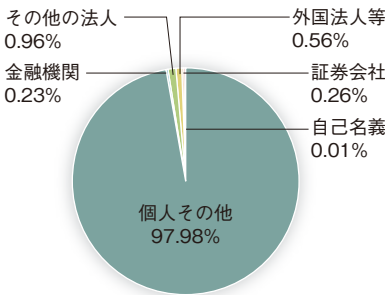
株主数 12,463名
(前期末 11,811名)

大株主

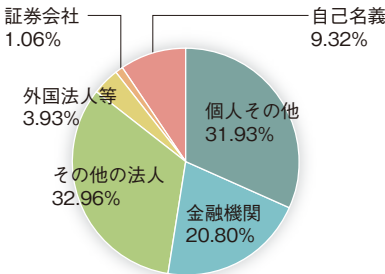
株主名	所有株式数(百株)
株式会社オンワードホールディングス	76,000
株式会社ソー	15,950
三井住友海上火災保険株式会社	12,927
三井住友信託銀行株式会社	11,340
株式会社みずほコーポレート銀行	11,283
明治安田生命保険相互会社	9,310
ダイドーリミテッド取引先持株会	5,368

(注) 当社所有の自己株式(3,808,405株)は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布



*本報告書に記載されている計画、戦略などは、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んでおります。